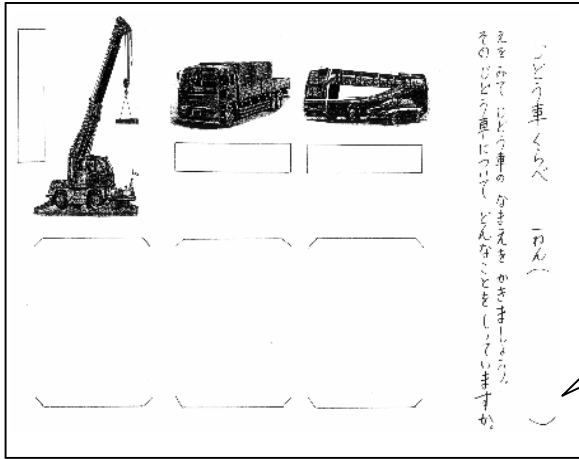


ワークシートを使った授業の展開について

<導入時の学習>

今年実施した研究授業の指導案を整理すると、導入時に次のような学習が行われている。

1・2年	3・4年	5・6年
<ul style="list-style-type: none"> <li>・感想を持つ。感想を書く。</li> <li>・内容の大体を知る。説明の順序を知る。</li> <li>・学習のめあてをつかむ。問いかけの文を見つける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めて知ったことや驚いたこと、疑問に思ったことなどを書く。</li> <li>・難語句の意味を知る。</li> <li>・文章全体をいくつか（意味段落）に分ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初発の感想を書く。</li> <li>・新出漢字や難語句を調べる。</li> <li>・文章全体の構成を考える。</li> </ul>



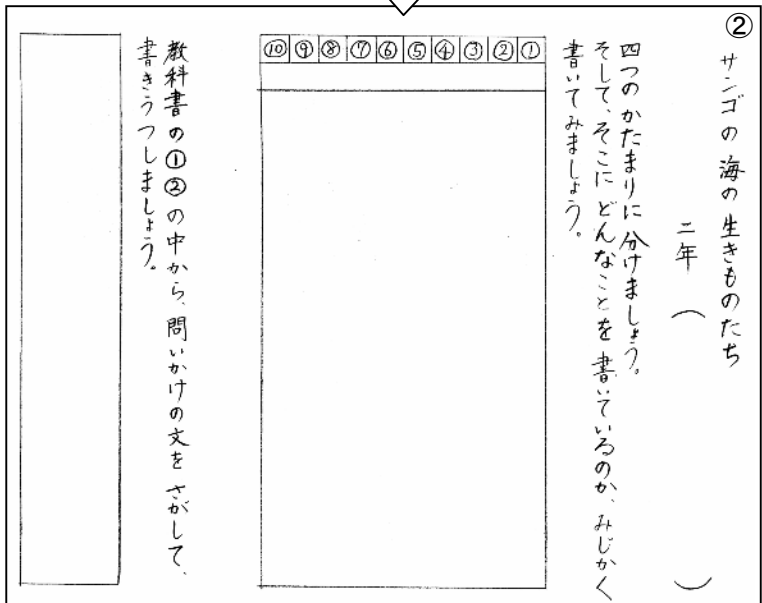
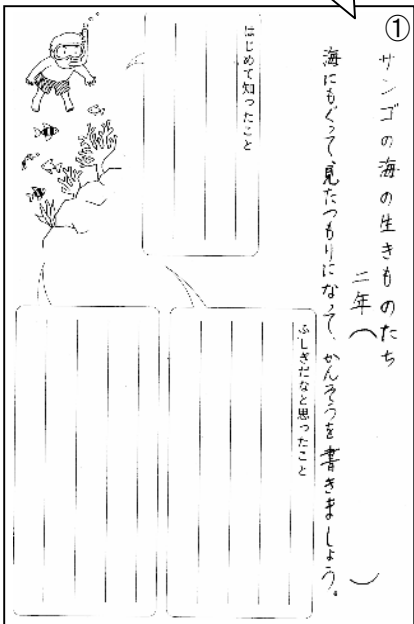
<1年の例>

- ・挿し絵を活用し、文章全体を概観している。
- ・説明の順序を知ると共に、将来の意味段落の学習につながるワークシート

<2年の例>  
挿し絵・吹き出しなどを活用し、初発の感想を書かせる工夫をしている。

<2年の例>

- ・文章全体を概観するのが第一の目的
- ・問いかけの文を探すことによって子どもに読みのめあてを持たしている
- ・3年生への発展を考え、段落・意味段落の意識を持たせるようにしている。



サツランとトラマルハナチ

文章全体を四つにまよりに分けよう。(理由も考えよう)

①	このお話は、さつらんが、トラマルハナチを飼ったことについて、おもしろいお話だ。	小見出し
②	さつらんが、トラマルハナチを飼ったのは、おもしろいお話だ。	小見出し
③	さつらんが、トラマルハナチを飼ったのは、おもしろいお話だ。	小見出し
④	さつらんが、トラマルハナチを飼ったのは、おもしろいお話だ。	小見出し
⑤	さつらんが、トラマルハナチを飼ったのは、おもしろいお話だ。	小見出し
⑥	さつらんが、トラマルハナチを飼ったのは、おもしろいお話だ。	小見出し
⑦	さつらんが、トラマルハナチを飼ったのは、おもしろいお話だ。	小見出し
⑧	さつらんが、トラマルハナチを飼ったのは、おもしろいお話だ。	小見出し
⑨	さつらんが、トラマルハナチを飼ったのは、おもしろいお話だ。	小見出し
⑩	さつらんが、トラマルハナチを飼ったのは、おもしろいお話だ。	小見出し

本論を二つに分け、前のことについて書いてみる。小見出しをつけよう。

文章全体を四つにまよりに分けよう。(理由も考えよう)

①	犬の一生	犬の一生
②	犬の栄養	犬の栄養
③	犬の飼育	犬の飼育
④	犬の健康	犬の健康
⑤	犬の成長	犬の成長
⑥	犬の繁殖	犬の繁殖
⑦	犬の飼育	犬の飼育
⑧	犬の健康	犬の健康
⑨	犬の成長	犬の成長
⑩	犬の繁殖	犬の繁殖

本論を二つに分け、小見出しをつけよう。

<左…5年の例 右…6年の例>

- 文章構成の基本(話題提示・本文・まとめ・筆者の考え)を指導しつつ、文章全体を概観している。
- 本論をさらに意味段落に分け、中学年の学習の成果を生かしている。

<読み取り過程における学習>

説明文の文章を読み取っていく過程では、基本的に、

- 意味段落ごとに学習を進めていく。
- 意味段落の学習では、**意味段落のイメージ化**(この場合は、書かれている内容を叙述に従って詳しく読み取り思い浮かべる)と**学年に応じた指導のねらい**の達成を図る。

という2点をどの学年も大切にしてきた。

説明文の読み取り過程における各学年のねらいとイメージ化の方法

各学年の指導のねらい	イメージ化の方法
<低学年> ・大事な言葉、大事な文をとらえさせる。	・挿し絵、吹き出し(主に低中学年) ・形式段落ごとに中心語を書き出す
<中学年> ・意味段落ごとに要点をまとめさせる。	・表にまとめる ・関係図に書き入れる
<高学年> ・意味段落ごとに、要旨(この場合は、意味段落の中心点と言った意味合い)をまとめたり、要約したりさせる。	・意味段落相互の関係をとらえる



